

平成30年度 西厨川地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年7月30日(月)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
西厨川	1	<p>道路の除排雪事業について</p> <p>「市政推進懇談会」の重点施策のうち、道路の除排雪事業が示されているが、現地での具体的な除雪等の状況から課題が多く見られるので、除排雪業務体制を含め事業の内容について説明いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者の除雪開始時間がまちまちで、住民が道路の使用を開始する時間帯にかかるため、渋滞や除雪前の積雪の中での通行を余儀なくされている。 ・除雪区間が終了しないうちに引き揚げてしまい、途中で除雪を止めて帰ってしまうことがある。 ・それら除雪に従事した結果についての報告はどうなっているのか。 ・委託の際の区間の決定、業者の能力の把握については明確になっているのか疑問である。 	<p>除雪業務体制についてですが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体制 盛岡地域及び都南地域は、全て業務委託により実施しており、委託業者数は131者です。 ○除雪出動基準 降雪量が概ね10cmを超えたとき、又は降雪量が5cmを超え、さらに降雪が予想される時等に、委託業者に出動を指示します。また地域により降雪状況が異なることから現地判断で実施することも多くございます。 ○除排雪路線の指定 路線の指定については、バス路線であること、主要幹線市道であること等により優先順位をつけて除排雪業務を実施しております。 <p>除雪開始時間については、現地の積雪状況等により判断しておりますことから作業開始時間にバラつきが生じるものと存じます。また、各担当業者の受持ち路線でも優先する路線から除雪作業を行っていることも一因であると思われまます。雪の降り始め時間帯や降雪量、業者の受持ち区域等により朝夕の通勤通学の時間帯前に除雪作業を終了できず御不便をおかけする場合がありますが、御理解をいただきたいと存じます。</p> <p>除雪区間の作業終了につきましては、除雪作業時間帯が通勤時間と重なるための中断、使用重機の給油・修理、受持ち区間が違う業者間の作業時間の調整等が発生することが考えられ、作業を一度に終了できない場合がありますことについて、御理解をいただきたいと存じます。除雪作業に不足の部分が生じた場合は、御連絡をいただければ現地確認の上、対応いたします。</p> <p>除雪作業の受託業者はGPSロガー(位置情報記録装置)を携帯して除雪作業に当たっており、記録された作業時間・作業軌跡及び現場写真のデータを提出していただくことで報告を受けており、その作業内容等を市職員が確認しております。</p> <p>除排雪業務委託の路線決定につきましては、委託業者の過年度の作業実績、委託期間終了後に提出していただいているアンケート、及びオペレータや除雪用重機の保有等により、個別に協議を行い決定しております。また受持ち地区を集約化する等、効率性も考慮し、協議の上委託路線の見直しも行っているところでございます。また業者の技量能力の向上を図るために毎年、講習会を実施しているところでございます。</p>	建設部 道路管理課

平成30年度 西厨川地区まちづくり懇談会 懇談事項

平成30年7月30日(月)

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
			<p>除雪の実施や開始時間については、市の指示及び現地の判断により各業者が出動することとしておりますが、これまでも全地域からまちまちであるとのお話も伺っているところであり、地域ごとに統一した除雪の実施を検討してまいりたいと存じております。また、町内会や除雪モニターの御意見を踏まえながら、今後の除雪業務体制に生かしてまいりたいと存じます。</p>	
西厨川	2	<p>盛岡市の少子化に伴う人口減少傾向と高齢化等々の対策について</p> <p>盛岡市の少子化に伴う人口減少傾向と高齢化等々に対して、今後どのように取り組むのか。特に若者を始め定住することが望まれるが、その具体的対策について聞きたい。</p> <p>また、高齢化に伴い町内会を運営できる役員の確保が年々難化している。活動はどうあれば良いか。現在役員の平均年齢は72.6歳、役員歴平均年数は13.5年である。(中屋敷町の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市は人口減少と逆ピラミット型の人口構成にあると思う。 ・人口が定住するような条件が整っていないのではないか。特に若者のための職業等が少ないのではないか。 ・職業の基になる企業等が少ないのではないか。つまり企業等が進出してきたい地域の条件を整える努力が必要ではないか。 ・イベントの実施は一時期の人口の集合はあるが、定着とはならないのではないか。 ・人口の定住のためには、町内・自治会等の充実により充実した住む場所があり、生活環境としての条件が整っていることが求められるのではないか。 ・町内会・自治会等の高齢化等により地域の望ましい運営ができない状態が課題である。市としても、各団体(NPO・商工会・教育機関等)と連携し、誰もが「地域の一員」であるという意識の啓蒙活動を推進してもらいたい。 	<p>○盛岡市は人口減少と逆ピラミット型の人口構成にあると思う。</p> <p>盛岡市の国勢調査人口は、平成12年の302,857人をピークに減少傾向となっており、平成27年の国勢調査人口は297,631人となっています。</p> <p>また、15歳未満と15歳～64歳の人口の割合は下降傾向にあり、平成12年国勢調査で、それぞれ15.2%、68.7%であったものが、平成27年では、12.5%、62.3%となっています。一方で、65歳以上の人口の割合が上昇傾向にあり、平成12年国勢調査で、16.0%であったものが、平成27年では25.1%となっています。今後も、出生数の減少や若年層の転出超過などにより、人口減少、少子高齢化の傾向は進行することが考えられます。</p> <p>このことから、市では、共につくる「子どもと子育てにやさしいまち盛岡」を基本方針に、「切れ目のない結婚・出産・子育て支援」や「若者・女性がやりがいと魅力を感じられるしごとの創出」、「東北の中核都市としての魅力・求心力の向上」に取り組んでいます。</p> <p>特に、子育て支援においては、待機児童の解消に向け、保育所などの施設整備の支援を行い、定員の増加に努めるとともに、子どもや保護者に寄り添った相談・支援を行う拠点として「子ども未来ステーション」を開所しております。</p> <p>また、子どもの医療費助成を中学生まで拡大し、子育て世代の経済的な負担を更に軽減するなど、子育て支援の取組を通じ、平成31年における出生数を2,476人、婚姻件数を1,527件と、平成26年度の値の維持に努めてまいります。</p>	市長公室 都市戦略室

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
			<p>○人口が定住するような条件が整っていないのではないか。特に若者のための職業等が少ないのではないか。</p> <p>県内に就職を希望する大学等卒業者の就職内定率は95.0%、高校生につきましても、就職率は99.9%と非常に高い水準となっており、県内に就職を希望する者はほぼ就職できている状況となっています。市では地元企業の紹介や魅力発見の機会として、高校生を対象とした企業見学バスツアーを開催しておりますが、今後も引き続き実施し、若者の地元定着に取り組んでまいります。</p> <p>新規学卒者以外の求職者については、平成29年度の盛岡公共職業安定所管内における求職者数の計は105,315人、求人数は136,322人となっており、有効求人倍率は1.29倍と高い水準となっています。求人数に対する充足数は21.0%にとどまっており、企業の人手不足が懸念されているところです。</p> <p>一方で、県内では新規大学卒業者が3年以内に離職する割合が約40%と全国平均の約30%を大きく上回っていることから、市では、新社会人就職定着プログラムやインターンシップ事業などを実施し、若者の職場定着や自分の適性に合った職場への就職に向けた支援を行っているところです。今後も、ジョブカフェやハローワークと連携を図りながら、若者の適性に合った職場に就職できるよう取組を行ってまいります。</p> <p>○職業の基になる企業等が少ないのではないか。つまり企業等が進出してきたい地域の条件を整える努力が必要ではないか。</p> <p>企業等の進出条件を整える努力につきましては、開運橋センタービルの盛岡市産業支援センターにおいて、新規創業者の支援を行っているほか、岩手大学の理工学部敷地内の盛岡市産学官連携研究センターにおいて、企業と大学との共同研究を支援し、岩手県工業技術センターの北側にあります盛岡市新事業創出支援センターにおいて、企業の新製品や新技術開発を支援しているところです。さらには、研究開発系の製造業の立地を進めるために、道明地区において新たな産業等用地の整備を進めることで企業が進出しやすい環境づくりに取り組んでおります。</p> <p>なお、個別の地域につきましては、企業からの相談を受け、対応しているところであります。</p>	<p>商工観光部 経済企画課 ものづくり推進課</p>

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
			<p>○イベントの実施は一時期の人口の集合はあるが、定着とはならないのではないか。</p> <p>市ではこれまで、盛岡商工会議所や商店街、各町内会等などと連携しながら、盛岡さんさ踊りやチャグチャグ馬コなどの様々なイベントを実施してきたところです。イベントの実施につきましては、地域資源の掘り起こしや地域の一体感と愛着意識の高揚に加えて、地域の魅力向上や交流人口の拡大にも効果的でありますことから、地域の活性化とともに、定住促進の一助にもつながっているものと認識しております。今後におきましてもイベントを継続して行い、住みたくなるようなまちづくりを推進してまいりたいと考えております。</p> <p>○人口の定住のためには、町内・自治会等の充実により充実した住む場所があり、生活環境としての条件が整っていることが求められるのではないか。</p> <p>人口減少対策として、定住促進を進めるに際しては、その地域が将来にわたり、「住み良く」かつ「安全・安心」であるなどの諸環境が整備されているほか、地域住民相互で「連帯感」や「つながり」を持つことが必要であります。その中核的な役割を果たす町内会・自治会は、自主性を尊重し、相互理解の下に進める「市民協働によるまちづくり」の大切なパートナーであると認識しており、市はこれまでも、「地域づくり計画」への支援や「市民協働推進センター」の設置、そして、「地域担当職員」の配置などを行ってきたところであります。</p>	<p>市民部 市民協働推進課</p>

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
			<p>○町内会・自治会等の高齢化等により地域の望ましい運営ができない状態が課題である。市としても、各団体(NPO・商工会・教育機関等)と連携し、誰もが「地域の一員」という意識の啓蒙活動を推進してもらいたい。</p> <p>町内会・自治会の運営面における課題としては、高齢化などによる担い手不足や硬直化、加入促進の必要性などを認識しており、市といたしましても、地域活動への一層の参加を促すために、活動の必要性の周知を図るほか、人材育成に寄与する「コミュニティリーダー研修会」や「人材養成講座」等の開催に際しては、NPO等様々な主体と連携し、地域でまちづくりを進める意識の醸成に取り組んでおります。</p> <p>また、町内会・自治会活動における事務負担軽減を図るため、「公衆街路灯電気料金の直接払い」や「協働推進奨励金制度の導入」などを進めてきたところであります。</p> <p>今後におきましても、地域の皆様と課題を共有しながら、町内会・自治会やNPO、地域の商店会等の多様な主体が協力してまちづくりを行う、地域協働事業の推進等を通じ、諸団体との連携を深めるなど、市民協働のまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。</p>	

地区	No.	懇談事項	説明	担当部課名
西厨川	3	<p>地域包括ケアシステムの体制づくりについて</p> <p>「高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう、地域包括ケアシステム」の体制づくりを進めるとあるが、それぞれの部分でどのような体制をつくり、それぞれをどのように組み合わせて機能的に作用させるのかが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムづくりは大切であるが、地域では果たして機能するのかが課題である。システムの構成部署と地域の何が連携するのか。 ・地域での日常生活は理想であるが、各システムの活動の合間にある純粋な個人のみの生活に地域がどのような形で世話ができるのか。 ・世話する地域の人間にも個人の生活があり、簡単にはいかない面がある。 ・認知症になれば、ますます日常の生活の世話が大変であるが、日中施設で過ごしている間は良いが、施設から帰宅したときや、一人の日常生活を誰が見るのか。 ・連携のための人材、特に地域の人材、個人を包む環境の整備等々問題が多岐にわたる。 ・住み慣れた地域の範囲が「住み慣れた家」「住み慣れた町内」「住み慣れた市町村」等々範囲がいろいろではないか。個人の持っている意識によって、まちまちなことが考えられるのではないか。 	<p>地域包括ケアシステムは、誰もが住み慣れた家で、安心して暮らし続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援の5つの要素の連携が必要とされております。</p> <p>西厨川地区内で開催している健康相談や栄養教室、玄米ニギニギ体操やふれあいサロンの継続も、システムの体制づくりにつながる重要な取組です。</p> <p>また、地域において個人が生活を営む上では、各々の困りごとに応じた相談先について、十分な情報提供を行うことが必要であると存じます。</p> <p>認知症への取組は、認知症の人やその家族の視点を重視することを基本に、普及・啓発の推進や、医療・介護等の提供、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりを進めていきたいと存じており、29年度においては、地域のもの忘れ相談医や認知症に関する集いの場を掲載した、もの忘れあんしん相談ガイド(地区別情報)も作成したところであります。</p> <p>地域の体制づくりは、地域の範囲の考え方や個人の意識によるところが大きいものと存じておりますが、これまで西厨川地区福祉推進会で取り組んでいただいているシルバーメイト事業や高齢者ふれあい活動のほか、防犯防災の活動を継続いただくことが、地域の支えあい、地域包括ケアシステムの深化となりますので、今後におきましても、地域での活動に尽力いただきたいと存じますし、市といたしましても、引き続き支援してまいりたいと存じます。</p>	保健福祉部 長寿社会課